就学相談

お子さんの豊かな学校生活のために

江東区では、心身に何らかの障害がある等、学校生活に不安があるお子さんの就学にあたって、どのような就学先が望ましいのか等、就学に関する様々な相談をお受けしています。保護者の方の意思を尊重しながら、お子さんの就学について、一緒に考えていくのが「就学相談」です。

「就学相談のながれ」

①申し込み（電話）学校支援課（特別支援教育担当）へ

②第1次相談（相談員面接等）
・相談員が就学先の希望や生育歴等をお伺いするとともに、保護者の方に必要な情報をお伝えします。
・心理士が発達検査等で、お子さんの発達状況等を把握します。

③第2次相談（行動観察等）
・専門の医師、心理判定員、相談員が、お子さんの発達や行動の様子を、小集団や個別の活動の中で把握します。

④第3次相談（保護者面接）
・お子さんの適切な就学先について、通園先等からの資料やこれまで把握した状況を基に、就学指導委員会として幅広い立場で検討し、判断した結果をお伝し、必要に応じて継続して相談を行います。

⑤就学
・以上の結果を踏まえ、保護者の方に就学通知をお送りします。

⑥継続相談
・ご希望により入学後もお子さんの継続相談を行い、情報提供をしたり状況によって学校訪問等を行ったりします。

来年4月に小・中学生になるお子さんについては7月1日から、現在小学1年生から中学3年生のお子さんの就学先変更についてのご相談は随時、電話で受け付けをしております。

問　学校支援課［特別支援教育担当］☎（3647）9175

教育委員会だより

「教育委員会」は、5名の教育委員で構成され、定例会を毎月1回開催するほか、必要に応じて臨時会を開催し、区の教育に関する方針や施策について審議・決定しています。会議は原則公開とし、傍聴は5名まで受付けています。詳細は、庶務課庶務係までお問合せください。

また、各会議の内容は、会議録でご覧いただけます（秘密会を除く）。会議録は、完成次第、区役所2階「こうとう情報ステーション」内の情報公開コーナーで公開しています。教育委員会のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

【教育委員会構成】

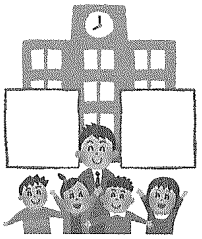
委員長	平井　康義
同職務代理者	八島　安男
委員	渡邉　美憲
委員	宇佐美　衛
委員（教育長）	岩佐　哲男

問　庶務課庶務係　☎（3647）9170

≪平成25年　教育委員会開会予定≫

定例会	開会予定日時
第6回	6月24日（月）午後1時
第7回	7月23日（火）午前10時
第8回	8月21日（水）午前10時
第9回	9月17日（火）午後1時
第10回	10月25日（金）午前10時
第11回	11月26日（火）午前10時
第12回	12月20日（金）午前10時

※H25.6.11 現在の開会予定です。今後、議会日程等の変更により、開会日時が変更となる場合があります。



シリーズ「こども」「家庭」「地域」を支援する

児童館活動

東雲児童館

ニーズと利用者の変化

東雲児童館は1980（昭和55）年4月に開設され、今年34年目を迎えます。この地域は高層マンションが次々に建てられ、人口が増加の一途をたどっています。少子化対策が叫ばれる昨今ですが、この地域では、乳幼児・児童の増加にどう対応するかが課題となっています。

児童館は都営団地の1階にあり、目の前が東雲公園（通称三角公園）になっています。自由来館のこどもたちは、天気のよい日は館と公園を行ったり来たりして元気よく遊んでいます。ときにこどもたちからの「クマゼミを発見！」というような情報を耳にすると、館長が網を持って駆けつけることもあります。

午前中は乳幼児の親子、午後は学童クラブ在籍児童も含めた小学生の利用で、館は一日中来館者が絶えません。

東雲児童館では生後2か月から4歳までの乳幼児を対象に、「子育てサロン」を毎週実施しています。保健師、栄養士による子育て相談や乳幼児向けイベントを含めると、ほぼ毎日のように親子が館を訪れています。民生・児童委員の方のサポートも不可欠です。

これらのプログラムで重要なことは入り口―「敷居の低さ」にあると考えています。「公園デビューをするときの緊張感は相当なもの」という声を聞いたことがあります。初めて訪れた方を心から歓迎し、ちょっとした悩みでも打ち明けてもらえるような関係をつくることを心がけています。

乳幼児ハロウィン・パーティ

また、毎年秋には、児童館の利用者だけでなく、保護者や地域の方と一緒に「児童館あきまつり」を実施しています。ゲームや工作、児童館で活動している東雲児童合唱団によるコンサートなど、盛りだくさんの内容で、400名を超える参加者があります。

国際交流と野外活動

東雲児童館の特色は、国際交流と野外活動です。外国籍で子育てをしている保護者が対象の「国際子育てサロン」では、有明にある国際交流館をはじめ、団地内や大型スーパーに3か国語の案内を掲示していただき、来館を呼びかけています。

一度参加された親子が気軽に児童館を利用するようになり、参加者にあわせて遊戯室内の掲示に中国語を加えるなど、工夫を凝らしています。

野外活動では、自然に触れ合える機会を多くつくろうと、年に5回ほどデイキャンプ（日帰りキャンプ）を実施しています。このうち恒例となった「船で行く葛西臨海公園」では、鳥類園で解説員の指導によるバードウォッチングもあり、こどもたちは生態系の豊かさを実感しました。

また、夏休みには1泊2日のキャンプで、大田区城南島まで遠征しました。自分たちでテントを設営したり、野外炊飯をしたり、共通の自然体験を通じて、友だちとのコミュニケーションがより深まったように思えます。エコライフの実践として「ソーラークッカー」で蒸しパンを作りましたが、焼け具合もよく、なかなか好評でした。

城南島キャンプ

児童館―三つの目的

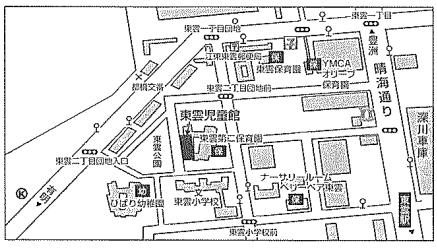
江東区の児童館は利用対象を幼児から中学生までと定めていますが、高校生の利用もあり、誰でも利用できるという緩やかな施設です。

児童館は「三つの目的」で構成されています。それは個別的援助、集団的援助、地域福祉で、たとえば学童クラブ事業は個別援助が主体となるように、遊びを通じて児童健全育成をはかるという点は同じです。

東雲児童館の年度目標、「地域から必要とされる児童館」とは、職員がこどもや保護者の声に耳を傾け、同時に人と人とを繋ぐ役割を果たそうということを表しています。

年度内には施設の大規模改修も予定されていて、仮設の建物に一時移転をします。東雲児童館がますます利用しやすくなり、地域に開かれた児童館になれるよう、皆さまの声をお聞かせください。

東雲児童館
江東区東雲2-4-4-102
☎（3529）1795



問　放課後支援課育成係　☎（3647）9230

第4回中学生「東京駅伝」大会に参加

江東区は、平成25年3月20日に、味の素スタジアム・武蔵野の森公園特設コースを会場に行われた、第4回中学生「東京駅伝」大会に参加しました。

この大会に参加するにあたり、選手選考会を昨年12月に開催し、区内全中学校23校の約170名で選考レースを行い、13校42名の代表選手たちが選ばれました。

選考会で選ばれた代表選手たちは、男女共に10位入賞という目標に向かい、夢の島競技場で実施した合同練習会でチームワークを高めていきました。

第4回中学生「東京駅伝」大会結果

天気に恵まれた大会当日は、都内50市区町村に加え、南三陸町が招待チームとして参加し全51チームが集まりました。

入賞を目標に頑張りましたが、女子の部では15位、男子の部は、惜しくも11位でした。

男子の部　スタート

しかし、男女共昨年の記録を上回る好タイムを出し、総合順位はこれまでで最高順位の9位でした。

また、優秀選手として、第三亀戸中学校の南秀磨くんが2キロの部を走った総勢408名中、第3位に入ることができました。

今後の取組

「チーム江東」として全中学校長を始め、指導にあたる先生方と選手たちの気持ちが一つになり、年々成績がよくなってきています。

今年の第5回中学生「東京駅伝」大会に向けて、これまで以上に力を合わせ、さらなる記録の更新と男女チームの入賞に向けて、取組をより一層強化していきます。

問　学校支援課学校支援係　(3647)9307

第4回中学生「東京駅伝」大会江東区代表チーム(42名)

女子の部　30km　15位　1:57:37	
檜山みすず(深川三中)	石合　奈々(深川三中)
有島　愛歩(深川六中)	矢口　成美(大島西中)
檜山ひかる(深川三中)	青木　純子(大島西中)
武井　優夏(三亀中)	織田　瑞穂(深川三中)
奥田　凛子(深川三中)	羽賀絵莉香(亀戸中)
金野　夏月(三亀中)	新坂上利奈(深川二中)
奥田　梨乃(深川八中)	岡本　天海(深川二中)
髙木　麻紀(深川七中)	野上　遥香(深川三中)
加藤　未玖(深川八中)	蓮　美咲(深川二中)
阿久根萌香(二南中)	竹内　桃香(三亀中)
料治　萌音(深川三中)	
男子の部　42.195km　11位　2:24:31	
長島　和範(二砂中)	岡村　龍吾(深川三中)
南　秀磨(三亀中)	荒川　隆太(大島西中)
岡村　希一(三亀中)	西田　伊吹(深川二中)
長谷川　皇(東陽中)	福田　達夫(東陽中)
天野　規朝(三亀中)	太田　純平(深川二中)
小池　哲平(有明中)	前山晃太郎(深川二中)
門戸　貴宏(東陽中)	曽根　裕太(三亀中)
阿久津由介(深川五中)	森　英輝(深川二中)
平田　涼(二砂中)	劉　息吹(深川三中)
坂本　陸(深川二中)	澁谷　拓未(深川六中)
武笠　祥崇(深川三中)	

いきいきスクールネットワーク

日本の文化に触れる
「お茶会」
元加賀幼稚園

元加賀幼稚園では、こどもたちに日本古来の文化である茶道や琴に親しませ、おもてなしの心や感謝の心を育むため、年3回、地域の茶道の先生、琴の先生をお招きし、お茶会を行っています。

1回目は、本園があるプラザ元加賀の〝元加賀庵〟の茶室で5歳児が先生から作法を教えてもらいます。お菓子やお茶の運び役とお客様役に分かれ、「どうぞ」「ちょうだいします」「おさげします」「ごちそうさまでした」と、おもてなしや感謝の言葉を伝え合いながら行います。この経験は『お茶会ごっこ』として、普段のこどもたちの遊びにもなります。

2回目は、茶室に大変身した幼稚園ホールで、祖父母の皆様を招待してお茶会を行います。

3回目は、4歳児学級と保護者の皆様を招待し「ひな祭りお茶会」を行います。琴の曲が流れ、日常とは違う雰囲気の中、心を込めておもてなしをします。

こどもたちは「緊張したけど、できた」と、一生懸命おもてなしをすることの大切さを学んでいます。保護者の皆様からは、「我が子の成長ぶりに感動しました」等の感想をいただいています。

元加賀庵でのお茶会

俳句を通した言葉を大切にする教育
深川第七中学校

深川第七中学校は、言葉を大切にする教育に力を入れています。その取組の一つとして、俳句を取り入れています。

以前から学年毎に俳句教室を開いたり、公園等に出かけてその場で俳句を詠んだりする「吟行(ぎんこう)」等を行ってきました。そのため、卒業式の送辞や答辞にも、自然と俳句が盛り込まれる様になってきました。

このような俳句への取組で、最近、特に力を入れているのが「フォト俳句」です。

まず、遠足や移動教室に行った際に、俳句を作ります。そして、その俳句にマッチする風景等を、デジタルカメラで写真に撮ります。学校に帰ってから、パソコンで写真と俳句を同じ画面にレイアウトして、「フォト俳句」を作成します。

フォト俳句

完成作品は廊下に掲示し、全生徒に紹介しています。

これからも、俳句を通して、言葉を大切にする教育を進めていきます。

感じて大発見！
～自然観察会～
川南小学校

川南小学校では、地域の仙台堀川公園で年に3回、1・2年生が生活科の学習の中で、自然観察会を行っています。

観察会では、ネイチャーリーダー江東の皆様に協力していただき、1グループ10人程度の小グループに分かれ、ネイチャーリーダーさんとともに公園を散策します。

緑生い茂る初夏の頃は、バッタ等の昆虫にも出会うことができます。見つけた草花の名前や様々な疑問にその場で答えてくださるので、普段は気付かない小さな実や季節の変化にも気付くことができ、自然を見つめる目が育ってきています。特に、こどもたちが楽しみにしているのは、松の葉でやる相撲遊びや笹舟・草笛作り等です。「どんな葉がいい音がなるのかな。」と、みんな真剣に探します。

秋には、落ちている樹皮でパズル遊びをしました。冬には、ススキを帽子に飾って大変身！自然と遊ぶ楽しさを十分に味わっています。

ネイチャーリーダーさんとの交流、自然に親しみ触れる感動体験は、高学年になっても忘れない心に残る充実した学習です。

いい音がなるのかな

TOKYO 2020 CANDIDATE CITY
東京2020オリンピック・パラリンピック招致
平成25年9／7(土)開催都市決定までのスケジュール　昨年5／23、東京が立候補都市に決定しました。詳細な大会開催計画をIOC国際オリンピック委員会に提出し、その後IOC評価委員会による立候補都市視察を経て、9／7にブエノスアイレスで開催される第125回IOC総会で開催都市が決定します。